

特殊詐欺の発生状況(平成30年7月末) ～個人情報削除を巡る架空請求詐欺が多発！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況(平成30年7月末現在)

- 被害認知件数は**29件**(前年同期比-35件)
- 被害額は**約4,680万円**(前年同期比-約8,180万円)
- 架空請求詐欺被害が最多(被害全体の約69%)

2 平成30年7月中の認知状況

- 被害認知件数は**3件**(前年同月比-6件)
- 被害額は**約170万円**(前年同月比-約1,160万円)
- 手口別では、
架空請求詐欺(個人情報削除名目) 2件
〃 (有料サイト利用料金名目) 1件

3 県内で発生した特殊詐欺事例の紹介(7月中)

- **個人情報削除を巡る架空請求詐欺が発生！**

本年6月以降、高齢者宅に

- ・ あなたの個人情報が漏れている
 - ・ 個人情報を削除するためには手数料が必要になる
- などと電話があり、
- ・ あなたの名義で商品が購入された、名義貸しは犯罪になる
 - ・ お金を支払えば逮捕されなくても済む
 - ・ お金は後で返金される

などと言われて高額な現金を宅配便を利用してだまし取られる架空請求詐欺の被害が増加傾向にあります。

「個人情報が漏れている」という電話は詐欺を疑い、すぐに家族や警察に相談しましょう。

～被害者の年齢・性別構成～

平成30年7月末			
年齢	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	4	4
30 ～ 39	3	1	4
40 ～ 49	-	1	1
50 ～ 59	3	3	6
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	-	4	4
80 ～ 89	-	6	6
90 ～	-	-	-
合 計	8	21	29
内65歳以上の高齢者	1	11	12

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年7月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	8
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	7
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	5
キャッシュカード受取型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	6
合計	29